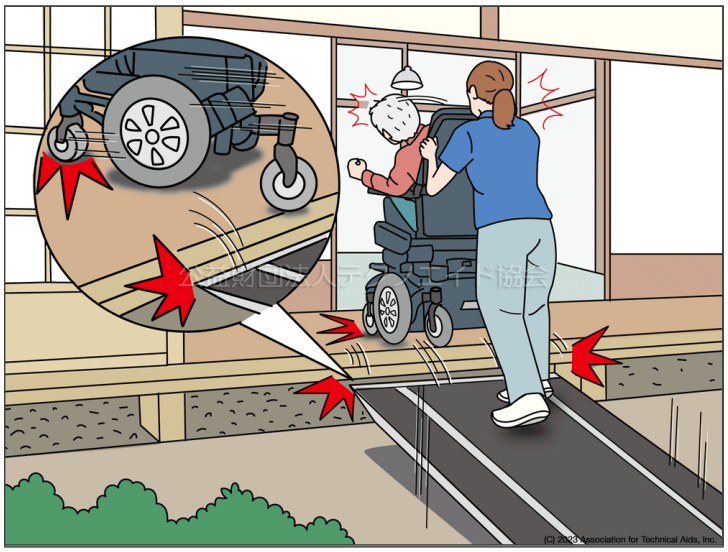
Case：375

電動車いすの駆動輪の勢いでスロープが後ろに蹴りだされ、外れそうになる

場面の説明

介助用の６輪電動車いすでスロープを昇る際、駆動輪の勢いが強く、上段部分でスロープが後ろに蹴りだされ、外れそうになった。



利用シーン	移動
主な利用場所	段差・縁石
介護保険の種目	車いす
分類コード (CCTA95)	122121 (電動介助用車いす)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

特に６輪の電動の車いすでは、駆動の力の反作用でスロープを後ろに蹴りだそうとする力が働きます。スロープが後方にズレて落下すると介助者を巻き込んで転落するなど、重大な事故につながることも考えられます。電動の車いすを利用するときには、スロープに付属しているゴム製のズレ止めだけではなく、地面に杭を打つなどズレにくくする工夫が必要な場合があります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：ゆっくり進ませる慎重なアクセル操作ができなかった
モノ：長年の使用でズレ止めのゴム面が硬化していた
環境：狭いスペースでスロープ角度が急だった
管理：ズレ止めゴム面の点検が項目に入っていなかった

Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：375

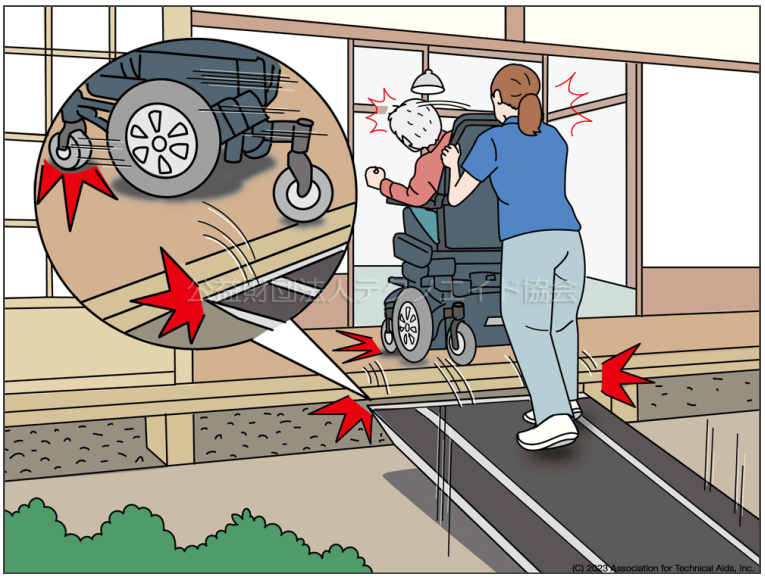
電動車いすの駆動輪の勢いでスロープが後ろに蹴りだされ、外れそうになる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

介助用の６輪電動車いすでスロープを昇る際、駆動輪の勢いが強く、上段部分でスロープが後ろに蹴りだされ、外れそうになった。



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.